

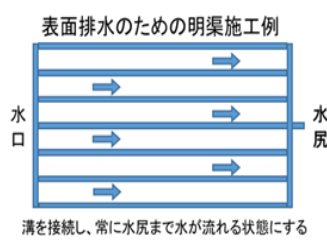
# 令和8年産 大豆『フクユタカ』栽培こよみ

目標収量  
300kg/10a

JALレーク滋賀  
令和8年4月作成

**【最重要】播種時期（大津・南部地域）6月25日～7月15日（高島地域）7月1日～7月15日**

- 土壌の過湿は発芽・生育不良を起こすので排水対策を徹底する。
- ほ場が乾かない場合は播種時期を遅らせ播種後1ヶ月までに追肥を施用。
- 大豆の出芽や除草剤の効果に影響するため播種前の耕起・砕土は丁寧に実施する。
- 雑草対策を確実に行う。（3回の除草剤散布：播種前、播種後、生育期）

月	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業内容	<p>は種期・発芽期 生育期 開花期(8/20頃) 若さや・さや伸長期 子実肥大期 落葉期 成熟期(11/10頃)</p> <p>表面排水のための明渠施工例                        溝を接続し、常に水尻まで水が流れる状態にする</p> <p>この期間は適度な水分がないと青立ちとなる場合がありますので、7日程度降雨がないようなら、畝間かん水を実施して下さい。</p>																				
	<p>11/25 雑草や青立株は汚損の原因になるので引き抜いて下さい。 収穫（脱粒）</p>																				

### 土づくり

大豆は有機物と保肥力のある土を好むので堆肥が効果的です。

肥料名	施用量	成分(%)
新ふりかけ堆肥eco	60kg～100kg/10a	N1.9 - P2.1 - K1.0 他

土壌pHは6.0～6.5が適正なので酸度矯正を実施して下さい。

肥料名	施用量	成分(%)
粒状苦土石灰	100kg/10a	アルカリ 53 - 可溶性苦土 15

### 基肥

基肥は初期生育を確保するため、窒素成分で2kg程度施用して下さい。

肥料名	施用量	成分(%)
化成肥料488	15kg/10a	N14.0 - P8.0 - K8.0

### 種子消毒

薬剤塗沫による種子消毒で生育初期の病害虫対策を行って下さい。

農薬名	希釈倍数	使用時期	適用病害虫
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg 当り8ml	は種前	田立枯病、紫斑病、茎疫病、

### は種

は種は、ほ場が乾いてから行って下さい。

は種時期	6/25～7/15(7/5基準)	は種密度	基本は、条間65～75cm×株間20cmの2粒播きです。
は種量	4～6kg/10a	は種直後	除草剤を散布します。
は種深度	3～4cm (乾いた状態で浅く)		

### 中耕・培土(2回)

開花1週間前までには作業を終了して下さい。中耕は除草効果を、培土は通気性向上、倒伏防止のために行って下さい。

回数	時期
1回目	本葉2葉期頃 (播種後20日頃)
2回目	本葉4葉期頃 (播種後30日頃)

### 雑草防除

防除区分	薬剤名	使用方法	使用量(10a)
1回目 耕起前または播種前まで	ラウンドアップマックスロード (一年生雑草)	雑草茎葉散布	200～500ml / 水50～100L
2回目 播種後出芽前	ラクサー乳剤 (一年生雑草) ラクサー粒剤 (一年生雑草)	全面土壌散布	400～800ml / 水100L 4～8kg
3回目 大豆2葉期～開花期	大豆バサグラン液剤 (一年生雑草イネ科除く)	雑草茎葉散布または全面散布 (収穫45日前まで)	100～150ml / 水100L
雑草生育期 イネ科雑草3～10葉期	ポルトフロアブル (一年生イネ科雑草)	雑草茎葉散布または全面散布 (収穫30日前まで)	200～300ml / 水100L 少量散布可

**※雑草に応じた剤を使用してください**  
草種によって除草剤の効果が異なりますので、雑草の発生状況に応じた除草剤を選定してください。

薬剤名	有効な雑草
大豆バサグラン液剤	アメリカセンダングサ、タデ類
ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草

● 薬剤選定にあたっては、そのほ場の過去の雑草発生状況も考慮して選定してください。  
● 除草剤散布後、葉に斑点や黄化、縮葉などの一過性の薬害が生じる場合があります。

### 病害虫防除（防除の際は下記の農薬から選んで使用して下さい。）

#### 必須防除

防除区分	薬剤名	適用病害虫名	使用方法	希釈倍率	使用時期
1回目 若莢期	ファンタジスタフロアブル	紫斑病等	散布 無人航空機散布	1,000～2,000倍 16倍	収穫7日前まで
	トレボンエアー	カメムシ類 マメシクイガ ハスモンヨトウ等	無人航空機散布	8倍	収穫14日前まで
2回目 子実肥大期	スタークル液剤0	カメムシ類 ダイズサヤマバエ フタスジヒメハムシ等	散布 無人航空機散布	1,000倍 8倍	収穫7日前まで
	プロフレアSC	ハスモンヨトウ フタスジヒメハムシ等	散布 無人航空機散布	2,000～4,000倍 16～32倍	収穫前日まで

**※病害虫の発生状況に応じて薬剤の変更が必要です。**

#### 追加防除

防除区分	薬剤名	適用病害虫	使用方法	希釈倍率	使用時期
ハスモンヨトウ (多発時)	フレオフロアブル	ハスモンヨトウ	散布	1,000～2,000倍	収穫7日前まで
			無人航空機散布	8～16倍	
カメムシ類 (多発時)	キラップフロアブル	カメムシ類	散布	2,000倍	収穫7日前まで
			無人航空機散布	16倍	

● 記載の農薬につきましては、令和8年3月時点での登録内容です。  
● 農薬の使用に当たっては、必ず容器ラベルを確認して下さい。  
● 無登録・使用禁止農薬の使用、及び適用外使用は法律違反となります。

品質向上と増収のポイント